



高水地協ニュース

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 岩本 淳一

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

2016 春季生活闘争開始宣言集会開催

『底上げ・底支え』、『格差是正』で経済の好循環をめざす



2016 春季生活闘争の開始を宣言する！

(本部オルグの連合長野 根橋事務局長)

第 2 回ユニオンスクール終了後、同会場にて「2016 春季生活闘争開始宣言集会（学習交流会）」を開催しました。

開会挨拶に立った荻原議長は、「2016 春季生活闘争がいよいよ始まる。それぞれの単組は、産別方針を基本に要求案づくりや闘争日程に沿った取り組みとなるが、シッカリと労使交渉をやり尽くしてほしい。連合会長は今春闘で、①持続性、②月例賃金、③広がり、④底上げの 4 つのキーワードを掲げている。ここ 2 年で上げた成果を持続していかなければ、デフレ脱却・経済の好循環に繋がっていかないし、全体を見れば定期昇給すらできていない厳しい単組が多く残っている。そのためには、月例賃金の引上げをシッカリと求め獲得していくことである。経営側は総じて経



挨拶する荻原議長

団連が主張する“収益向上分は年収ベースで対応”との考えで労使交渉に臨んでくと思うが、そもそも賃上げとは月例賃金に焦点を当て、そこを引き上げることである。そうでなければ持続性や広がりが実現できない。世の中へこうした雰囲気

口で言うほど簡単ではないが、大手追従・大手準拠といった古い文化から抜け出していかなければならない。また、今年は底上げ春闘と言われている。同じサプライチェーンの輪の中とはいえ、子会社・下請け、あるいは地場の中小企業を含めそこに働く皆さんは弱い立場である。その方々に対しても、働いた成果がキチンと配分されなければならない。そのことをそれぞれの立場でシッカリと訴えていこうではないか。以上が神津連合会長のメッセージ（要約）であり、今春闘はまさに全体の雰囲気作りが死命を決すると言われている。参加された一人ひとりの熱意で春闘全体を盛り上げ、世の中に発信していこう」と述べました。

学習会は、連合長野の 2016 春季生活闘争方針について根橋美津人連合長野事務局長より本部オルグを受け、引き続き各単組から組織運営の目標と課題、春闘スケジュールなどについて発表し春季生活闘争開始宣言を採択しました。この後、参加者による単組交流会を開催し相互の意見交換を行い、荻原議長の発声により「春季闘争の勝利に向けて団結がんばろう」を三唱し、2016 春季生活闘争開始宣言集会・単組交流集会を閉会しました。

日 時：2016 年 2 月 13 日（土）午後 4 時より

会 場：魚がし（中野市内）

参加者：66 名（21 単組）

地協ユニオンスクール開校



講師の小林前議長

「労働組合をいきいきと輝かせ、人が人として尊重される社会をつくろう」をスローガンに、本年も2回の地協ユニオンスクールを開校しました。

ユニオンスクールの趣旨は、これまでの幹事会議論として示した通り、「構成労働組合の役員は、労働組合の存在意義の伝承や果たすべき役割に対する意識が希薄なまま、輪番制の如く短期で役員交替しているのが実態であり、あらためて労働組合の原点回帰と先人の知恵に学ぶという意味において、労働組合の歴史を紐解きながら、相互に労働法制を再認識したうえで組合員に“労働組合に入っていて良かった”と言われる運動展開のため、地協として後押しする必要がある」との意見集約に沿ったものです。

◇第1回ユニオンスクール◇

講義内容：①用語の理解（単組・単産、ナショナルセンター、ユニオンショップ・オープンショップ、春闘・春季生活闘争、ベースアップ、メーデーなど）②組合の歴史（四産別時代、地区労働組合評議会、産別、労福協など）③権利を学ぶ（日本国憲法、労働三権、労基法、労働組合法など）で約2時間の教育研修を行いました。

日 時：2016年1月30日（土）午前10時より

会 場：中野市人権センター会議室

第1回幹事会開催

昨年11月の定期総会后、新役員の初顔合わせとなる第1回幹事会を開催しました。

招集挨拶で、荻原議長より「定期総会で承認された地協の活動方針に沿い、役員の総意で地域における積極的な運動展開を進めていきたい。地協全体でやること、そして各地連でやるべきことを明確にし、諸先輩の取り組みを継承しつつ、地域のユニオンリーダーとして役員と構成単組が一体となって、地域に根差した連合運動を展開していこう」と述べました。

日 時：2016年1月13日（水）午後6時15分～

場 所：地協事務所

出席者：16名（委任状10通）

議 題：役員の自己紹介、当面の行事（ユニオンスク

参加者：53名（20単組）※設営役員含む

◇第2回ユニオンスクール◇

講義内容：①不当労働行為を見逃すな、②労働組合の3つの活動領域と運営の根幹活動（経済活動、政治活動、共済活動および組織・教宣などの活動）、③団体交渉は労働組合の命綱、④なぜ政治活動、⑤共済活動の活性、⑥楽しくなければ始まらない、⑦役員になるのは成長のチャンス、⑧まとめ（仲間を守ってこそ労働組合など）で約2時間の教育研修を行いました。

日 時：2016年2月13日（土）午後2時より

会 場：魚がし（中野市内）

参加者：76名（24単組）※設営役員含む



受講する構成単組の組合員

ール、2016春闘開始宣言集会・単組交流集会、地連における春闘勝利総決起集会・地区メーデー等）確認および対応について、当面の事務局体制について etc.



車天狗
【キャンペーン】
2015.10/1 ▶ 2016.3/31

スマホで
仮審査が
できる

ご融資金利

定期金利	1.60%	1.40%	定期金利	1.85%	1.65%
------	-------	-------	------	-------	-------

参議院議員選挙（長野県区）

「杉尾ひでや」氏を推薦

連合長野は、本年 7 月施行予定の参議院議員選挙（長野県区）の候補者推薦に関して、民主党長野県連との協議を経て、北澤俊美参議院議員の後継者と位置付けた民主党公認で立候補を予定する元 TBS キャスター「杉尾ひでや（秀哉）」氏の推薦を、執行委員会の全会一致で決定しました。

労働組合がなぜ選挙活動を推進するのか——。2009 年の衆院選の結果、連合が支援する民主党を中心とした政権交代が実現しました。この政権は、労働者・生活者の視点に立った政治の実現を目指してきました。また、こうした政権になったことで、働く側の労働組合も積極的に国の政策づくりに関わり、労働者の視点から様々な要望・要求を実現する展望が大きく開けました。このように、労働組合が政策・制度課題に取り組む重要性は高まっています。

しかしながら、民主党の政権運営が上手いかずに、再び自民党中心の安倍政権に戻っている訳ですが、やっていることは高い内閣支持率が維持されているとして数の力に任せて、国民無視の法改正（特定秘密保護法、改正労働者派遣法、安全保障関連法[戦争法]などの成立）を行い、政権の基軸におくアベノミクスは、国内外の有識者から「既に破綻している」とも酷評されており、今や日銀の異次元緩和が急激な為替変動を招いています。特にアベノミクス以降、収入は年金だけに消費増税と物価高騰によって生活が立ちゆかなくなる“貧困高齢者”が増えているのが実態です。

このように、議席が極端に政権側へ偏ると政局は「国民のための政治」から「国民を支配する政治」へと変質してしまうのです。労働組合がめざす“労働者・生活者の視点に立った政治の実現”は遠のくばかりか、国民が納得しない政治・国民に負担を強いる政治になるのです。

参議院議員選挙

連合組織内比例区候補予定者の紹介（12 名）

連合は、各産別から今参議院議員選挙（比例区）における組織内立候補予定者の推薦依頼を受け、全会一致で推薦を決定しました。具体的な支援活動は、当該の産別方針のもとで展開されます。組合員各位には産別組織内立候補予定者の必勝に向けて、格段のご支援・ご協力をお願い致します。

<プロフィール>

兵庫県加古川市生まれの東大文学部卒 58 歳。時事通信社を経て 1981 年 TBS に入社。「JNN ニュースの森」や「サンデーモーニング」に出演。ラジオ支局長として米国大統領選挙の取材を行う。その後、編成制作本部報道局解説などを歴任し、昨年末 TBS 退社。



私たち労働組合がめざす政治は、国民主権の政治であり与野党の議席が均衡した緊張感ある政治です。決して数の力で押し切るような政治を望んでいる訳ではないはずで。そして、労働者・生活者の声が国会へ届き、その政策の実現可能な政治勢力の結集を創り上げていくことです。

参議院選挙は、政権交代に直結するものではありませんが、ここでキチンと民主党の議席を伸ばさないと、緊張した政局は創りようがありません。是非、北澤俊美議員が死守してきた議席を、私たちの手で後任候補予定者の「杉尾ひでや」氏に向けた支援の輪により、守り貫いていこうではありませんか。

参議院議員の定数は、公職選挙法の改正により「10 増・10 減」となり、長野県区は 4 名から 2 名に減員され今夏の参議院議員選挙から適用されると言われています。3 年毎に半数を選ぶ選挙ですから、今夏の選挙で 1 名しか当選できませんので、非常に厳しい・難しい選挙戦になります。また、選挙権年齢も 18 歳に引き下げられましたが、彼らはまだ経験がありませんから、私たちには「彼らをどう取り込んでいくか」という課題があります。

いずれにしても、今から「杉尾ひでや」候補予定者の必勝に向けた支援の輪を広げる活動を進め、来る決戦に向けてその輪が「確かなもの」となるよう、組合員各位のご尽力をお願い致します。



